

山岡光広・西山実・岡田重美議員が一般質問

発言順

山岡光広議員



◆岩永市長の政治団体の政治資金収支報告未提出の顛末◆社会福祉法人に対する特別監査◆18歳までの子どもの医療費無料化◆原発避難マッチング◆補聴器の購入補助◆前立腺がん検診

山岡 市長の政治団体が市長当選時から5年間にわたって県選管への政治資金収支報告の提出を怠り、「みなし解散」となっているにも関わらず寄付を受け政治活動費として支出していた問題について、「新聞報道にあるように『失念していた』というだけでは済まされない問題。市長として、政治家として、政治的責任が問われているのではないかと。

市長 市政の責任者である私自身が市政に対する信頼を損ね、市民の皆さんに多大なご迷惑をおかけしたことについて、深くお詫び申し上げますとともに、今議会に給料の減額を上程させていたではないかと。

山岡 政治金規正法に抵触するのではないかと。収支報告に対する認識が甘い。山岡 手話言語及び情報コミュニケーション促進条例第2条で示す「合理的配慮」の立場からすると、一歩でも補助を実施するよう具体的な検討をするべきではないかと。

健康福祉部長 加齢性難聴は全国的な課題。6月議会で「加齢性難聴を患いコミュニケーションに不便を感じておられる方に、どのような支援が必要か検討していく」と答えた。他市町の補助制度について情報収集を行い、対象要件や補助金額等の支援策について検討を進めているところ。

西山実議員



◆水道の広域化と水道料金◆小中学校の特別教室へのエアコン設置の促進を、◆消費者被害の防止対策の強化◆新型コロナウイルスの感染状況とワクチン接種状況について。

西山 滋賀県は将来全県一水道の広域化を目指している。広域化ではなく低廉で持続可能な水道事業の再構築が必要では。上下水道部長 水道利用者の方々の安全・安心と利益を最優先とし、自己水源の確保をはじめとした既存の施設を最大限に活かし、持続可能な水道事業の展開を検討していくことが重要である。

西山 夏場は異常な暑さになることから、理科室など小中学校の特別教室のエアコン整備を急ぐべき。

市長 熱中症による児童・生徒の健康被害についても懸念されることから、特に使用頻度が多いエアコン未設置教室82室への整備に向けて早期着手、完了を目指す。

西山 電話勧誘による契約トラブルが増加。実例を示し防止対策の強化を。市民環境部長 地域包括センターとの連携や広報誌・出前講座での啓発、LINE等を有効に活用し、消費生活センターの周知や消費者被害防止の啓発に取り組む。

西山 新型コロナウイルスの感染が7月以降拡大している。高齢者・障害者施設、学校、保育所など感染リスクの高い施設における、感染防止の対策の強化を。健康福祉部長 感染者数が増加傾向にあると認識しており、引き続き感染動向を注視し、市民への周知に努める。

岡田重美議員



◆誰もが安心して利用できる介護保険制度を、第9期介護保険事業計画の策定◆現行の健康保険証の存続を◆甲賀市環境未来都市宣言を実効あるものに◆インボイスは中止を

岡田 介護保険料は高すぎるというのが市民の声。第9期の介護保険料については、基金活用など行い、引き下げるべき。健康福祉部長 基金の活用も視野に入れ、慎重に検討したい。

岡田 特別養護老人ホームの待機者は8月末現在329人。第9期では、ニーズに見合った施設整備計画を策定すべき。健康福祉部長 在宅サービスと施設サービスのバランスを考え決定したい。

岡田 マイナ保険証について市民や医療現場から懸念の声がある。国に現行の健康保険証の継続を求めるべき。

市長 国においては、廃止の時期、マイナ保険証を持たない人の対応等慎重に検討いただきたい。

岡田 甲賀市環境未来都市宣言を実効あるものにするためには、市民の意識を高める必要があるのではないかと。市民環境部長 カーボンニュートラルについて、市民に周知・啓発を行うとともに意見交換の場を設けていきたい。

岡田 10月から導入のインボイス制度は、市内事業者の他、農事組合法人、シルバー人材センターなど市民に大きく影響があるもの。国に対し中止を求めるべき。総務部長 重要な制度。国に対し中止を求めることは考えていない。

山岡 今議会は決算認定が中心でした。議選監査なので申し合わせにより、決算審査に入らず残念。結局、傍聴してました。岡田 一般会計は、4日間の日程というものの実質2日間で全部局を審査するのは、大変でした。もっと余裕をもって質疑・審査しないと。

西山 本会議で反対討論にたちました。決算は、すでに執行済みとしないで、大切な税金が市民の暮らし応援、福祉や教育など、市民ニーズに応えた施策になっているか、という視点でチェックしました。山岡 一般質問では、19名が通告。市長の政治資金収支報告が5年間も未提出だった問題や福祉法人に対する特別監査の問題について、我が党しか取り上げなかったのは意外でした。

西山 本当ですね。答弁は変わらないかもしれませんが、市長の政治姿勢にかかわる問題について、党派として発言しないというのは如何なものか、と。山岡 知事が18歳まで医療費助成を拡充すると表明したことは評価しながらも、その費用負担については、市長もゼロ歳から高校生世代まで、県と市町が2分の1負担となるのが望ましいと述べられた。同感。

岡田 ところが市長与党を自認する自民党誠翔会と公明党が、同様主旨の県知事への意見書に反対したのは驚きでした。西山 内容ではなく、提出したのが日本共産党、という点で反対したという感じですね。

山岡 我が党は、例え自民党であっても公明党であっても、その内容がよければ賛成しているんですけどね。もっと胸襟を開いて対応してほしいですね。